



発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2023年11月21日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <https://sagamiva.info/>



ほかほかふれあいフェスタ2023 盛大に!



健康フェスタ・パラスポーツ体験と同時開催

あじさい会館・ウェルネスさがみはら前広場にて

暑くもなく寒くもなくすがすがしい秋晴れの中、今年は例年と違い、3イベントが同じ日に開催されることになった。

あじさい会館ホールでは、午前10時から開会セレモニーが開かれた。

まず実行委員長の加藤さんから「新型コロナの影響で中止を余儀なくされたこともありましたが、今年はようやく従来通りのほかほかフェスタを行うことになりました。」来場の皆さま、あじさい会館をはじめ、各会場をお回りになって楽しんでいただきたいと思います」と挨拶があった。

来賓には、石井副市長、古内市議会議長、笠野市社協会長、鈴木社会福祉事業団常務理事、荻澤グリーンライオンズクラブ会長が紹介された。

笠野市社協会長からは「このフェスタは、ボランティア活動の裾野を広げ、若者の参加を増やすことに貢献していただいています。3つのイベントが同時開催されることで相乗効果が働きます。素晴らしいイベントになることでしょう。共生社会の実現へと決意を新たにしました」とのご挨拶をいただいた。

この後、マスコットキャラクター「さがみん」と「食育推進マスコット「サガビー」が登場し、愛らしい姿で会場を盛り上げていた。

(山崎)

*写真撮影はさがみはら若者サポートステーションのみなさん

*次ページに続きます。



さがみんとサガビーも大活躍

理事辞任のご報告

今期より理事に就任しました佐藤一春理事より、「自身の仕事の都合による理事辞任の申し出があり理事会において承認致しました。」

なお、協会理事は辞任となりますが協会会員は継続し、理事就任前から取り組まれているハンディキャップ運動ボランティアも引き続き活動されるということです。運動ボランティアとしての活躍を期待しております。

佐藤理事辞任により無任所理事を兼ね7名となりますが、次回の改選までは現在のメンバーで理事活動を進めていきます。協会の課題克服のために引き続き尽力して参りますので、協会活動へのご支援を宜しくお願い申し上げます。

ボランティア協会 会長 加藤 修



本村市長もeスポーツに熱中!



(小山)

セレモニー後は、各団体がダンスやバンド演奏などのパフォーマンスを繰り広げた。
よさこいでは踊りながら客席の間を回り、演じる人も観ている人も一体となり楽しんでいた。
6階ボランティア活動室の、緑風園さんのeスポーツ体験ブース、筆記通訳サークル もみじさんのパソコン・手書き・子どもコーナーでは、大人も子供も夢中になって体験していた。
ウェルネスさがみはら前広場では、パン、焼きそば、ポップコーン、コーヒー、野菜などの販売、またバザー、けん玉体験、魚釣りゲーム、団体の活動紹介展示などがあった。今年は食べ物の販売もあり、焼きそば、パンは大人気で早々に完売。嬉しいような買えなかった方にはちよびり残念な感じも。
魚釣りのゲームでは「大漁だねー」と声をかけられた子どもさんがニコニコと楽しんでいる姿もありました。あちらこちらで小さなふれあいがたくさん見られた。それがほかほかふれあいフェスタだなと感じた。

ボラ協も参加します！！

神奈川県では、NPO法人の認知度向上や寄付促進を目的に、12月の「寄付月間」に合わせて、かながわ県民センターなどでNPO法人の活動紹介を行います。

ボランティア協会も、ポスターの展示や県HP、SNSなどで活動内容をPR！

*かながわ県民センター1階にて展示

12月1日(金)～12月28日(木)

*県ホームページ・かおにゃんX

Facebook 掲載



クイズに挑戦

こつわがクイズです。【 】に入るふたつを。

- ① 浅い川も【 】に渡る
- ② 窮鼠【 】を咬む
- ③ 木に【 】を接ぐ



クイズの答え

- ① は川の深く
 - ② は鼠の猫
 - ③ は木の竹
- 簡単そうだからと油断すると失敗するといふこと
弱者であっても追いつめられれば反撃してやるということ
物事が釣りの合っていない、筋が通らないことなど

12月の記念日は？

小倉義男

12月16日は、フリーランスの日。

日本初のフリーランスの支援を行うプラットフォーム、クラウドソーシングサービス「ランサーズ」を運営するランサーズ株式会社が制定。フリーランスの仕事のマッチングだけでなく、フリーランスのスキルアップのためのプログラムの提供などを行い、次世代のワークスタイルであるフリーランスの人に個々の力を高めてもらうのが目的。日付は同社がスタートした日より。イラストは、フリーランスときたので、ドクターXです。

ちょっと違うかな？

【出典(一社)日本記念日協会より参照】



小倉画

ボランティア活動グループ訪問記

―十を活用でユニバーサル社会へ―



令和5年10月31日(火)にNPO法人ここずっとさんを取材させていただきました。ここずっとさんは、2002年開催の講座「新しいボランティアのカタチ」で、『テキストの音声化、音声のテキスト化で情報伝達をユニバーサルデザイン化する』などの活動内容をお話いただいたことがあります。

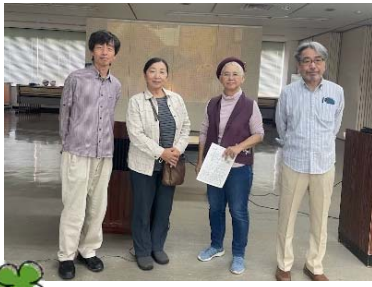
当日は、11月26日(日)に開催される相模原市視覚障害者協会(以下相模協)福祉大会の会場となるあじさい会館で下見や確認作業などでお忙しい中、理事長の田嶋(たじま)じゅんじゅんさん、副理事長の梅田(うめだ)稔(のり)さん、小島(こじま)裕生(ゆうせい)さん、大塚(おおづか)寿子(ことね)さんにお話を伺いました。

★「ここずっと」の設立は、

2012年3月16日で、ここずっとはついに10年を迎えると思いきや、この日を目標として活動を始めました。

★活動内容は、

地域情報紙の発行、市民相談、「コミュニケーション」(コミュニケーション)、各種講座・講演などです。



左から小島さん、大塚さん、田嶋さん、梅田さん

相模協福祉大会のアトラクションで上映される映画「コミュニケーション」が視覚障がい者のための音声ガイド、聴覚障がい者のための字幕付きで上映されますが、コミュニケーションと同様にそのサポートをしていて、この日はその確認作業をしていました。

コミュニケーションについて

映画に手話、字幕、音声ガイドを付けコミュニケーション・シアターとして上映会を開催、活動しています。まちづくりの視点でバリアフリー上映会を開催することは、障がい当事者だけでなく、地域高齢者にも映画鑑賞の機会を通じ貴重な情報保証の役割を実現している、コミュニケーション・シアターの意義を果たしていると思います。

映画に手話や字幕、その上に音声ガイドとなぜ必要なのかと伺うと、「障がいと言っても、生まれた時から途中からか、見える見えない、聴こえる聴こえないなど状態はひとりひとりの違い、サポートの仕方それぞれ違うため、字幕や音声ガイドを付けることにより、映画館の広いスクリーンで一緒に見て感動し、一緒に笑うという共感の体験を重ねることができるとのことです。音を見えるように、光が聴こえるように、映画に字幕や音声ガイドがついていれば映画館に行ってもいつでも見ることが出来ます。今まで活動してきたユニバーサルデザインのノウハウについて得てきたスキルを、ぜひ市民の皆様と共有したいと、市の方にいろいろ働きかけもしているとおっしゃっていました。

映画「コミュニケーション」のプロデューサー・平塚千恵子さんは、音声ガイド作りに取り組む映画鑑賞推進団体シティ・ライツの代表で、田嶋に誰もが楽しめるユニバーサルデザインの常設映画館を運営。視覚障がい者と共に映画鑑賞をしたくて始めた平塚さんの活動が主となり、ここずっとの歩みもあるそうです。

また、市民社会のバリアフリー化が求められる中で、メディアバリアフリーのための字幕音声ガイドについては社会的認知が進んでなく、製作者は圧倒的に不足しているとのこと。バリアフリー映画鑑賞の働き

を通じて地域におけるバリアフリーの新しい認知が拓かれ市民社会の新しいあり方、文化を提案していければと期待しているそうです。

お話をうかがっている間、会場の準備が進み、天井から床まであるパーティーション4枚をスクリーンとして使用、また部屋の明るさ、音声を調整し音の聞き具合や見やすさを確認するなど、少しでも心地よい映画鑑賞ができるように苦心されていました。

ユニバーボイスについて

印刷物の文字情報を二次元コードに変換したものです。コミュニケーション第8回からは、告知チラシに必ず音声コードを入れています。あらかじめスマートフォンに「UniVoice」で検索したアプリをダウンロードしておく、チラシに付いているQRコードによく似た音声コードを読み取ることができます。文字数700字前後をスマホで読み取り読み上げられるそうです。私は初めてのことで、こんなこともできるのかと驚きました。視覚障がい当事者にとっても画期的なことだと思いました。聴こえない人に、なんとか音の感動を伝えたい、見えない人にありのままの映像を届けたいと活動を続けている「ここずっと」さんでした。集会やシンポジウム、会議などさまざまな場面でユニバーサルにするお手伝いをしたいと思いました。

(恒藤・小山)

NPO法人 ここずっと

〒252-0303

神奈川県相模原市南区相模大野 9-6-18

TEL : 042-745-0676

FAX : 042-742-0447

E-MAIL : info@cocozutto.jp

URL : <http://www.cocozutto.jp>

理事会報告



11月11日（土）理事会（理事の名出席）

1、報告事項

・佐藤一春理事が一身上の都合により10月末で理事を辞任された。

＜広報委員会＞

・長く広報委員として活躍された植野さんが都合により辞任された。長い年月、苦労も多かった。

＜ハンディキャップ委員会＞

・運動者を増やして、利用者増になるよう取り組むこととした。

＜事務局委員会＞

・ハンディキャップ委員会とのより密接なやりとりで改善を図ることとした。

＜講座検討委員会＞

・3月12、19、26日に傾聴を中心の講座を計画中。

＜映像企画実行委員会＞

・会員へのインタビュー動画番組を制作中。

＜傾聴委員会＞

・充実した傾聴活動者の情報交換会に向けてアンケート実施など内容を検討中。

＜その他＞

・ほかほかふれあいフェスタ障害者週間キャンペーン（11/25）について、実行委員会準備中。11月でハンディキャップ活動へのおおきくPRを計画。

2、審議事項

・通常総会は来年5月18日（土）で計画を進める。
・協会の今後のあり方について検討を進める。

次回理事会は12月9日（土）10時より

相模原ボランティア協会 12月の予定

日	時 間	内 容
6(水)	10:00～	傾聴委員会
9(土)	10:00～	理事会・ボラ協のあり方検討会
13(水)	13:00～	広報委員会・ぼら通部会
16(土)	13:00～	ハンディキャップ・事務局合同委員会
19(火)	10:30～	ぼら通12月号印刷
	13:00～	ぼら通12月号発送

※事務局年末年始の休み

12月29日（金）～1月3日（水）

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

＜10月の寄付者＞

佐藤一春様、石井吉彦様、尾野剛男様他20名の方からご寄付をいただきました。

＜10月の寄付金＞

総額 76,760 円でした。



みんな来てね！

障害者週間キャンペーン開催

11月25日（土）12:00～15:15

相模大野駅北口サンデッキでイベントを開催します！
障害者週間についての展示や資料を配布してキャンペーン活動をします。ステージでのパフォーマンスや木工品などの販売もありますのでお楽しみに♪

ステージでは

- *ヒップホップダンス（S. N. D. F）
- *車椅子ダンス（相模原障害者とダンスを楽しむ会）
- *ダンスとトーク（チームオンリーワン2023）
- *バンド演奏（ウクレレマイスターズ）
- *よさこいソーラン（よさこいー心）
- *バンド演奏（チョップスティックス）
- *大道芸人 TAKUMI



発見

京王橋本駅の階段を降りたところで、珍しい物を見かけました。

防犯灯の支柱に赤色灯・サイレン・防犯カメラ・インターホン・緊急通報ボタンを装備した街頭緊急通報装置です。通報ボタンを押すと、サイレンが鳴り、インターホンで警察本部通信指令室の警察官と直接通話できます。現在、神奈川県では17地区、合計27基が設置されていて、相模原市ではまだ、橋本だけのようです。



街頭緊急通報装置

つぶやき

事務局のつぶやき

事務局
堀 ぼり
一恵 かすえ

事務局では、毎日いろいろな電話をいただきます。最近私が、印象に残ったお電話を一つ、お話ししたいと思います。

ハンディキャブで利用者の高齢男性。以前は難しい方でした。電話ではいつもライオンとしている印象がありました。ところが、ここ数年で電話での感じが柔らかく、毎回感謝の言葉を言っていたり、何か心境の変化でもあったのかしらうと思っていました。ハンディキャブの女性運転手さんが増えたことも関係しているのかなと感じています。女性ならではの優しい目線、ちょっとしたお喋りなどが、優しいこの連鎖のようにつながっているのか嬉しく思います。

もう一つは、やはりハンディキャブで利用している高齢女性で、ご利用後にお電話を下さいました。

「ボランティア協会の運転手さんは、皆さん優しい。男性運転手さんに何年やっているの?と聞いたら10年以上になりますと言われた。他に仕事もしているみたいなのに、ボランティアまでやっている、本当に心の優しい人なのだと感謝の気持ちでいっぱいになった。私は長年、病院に通っているが、HC号の運転手さんとお喋りをしている車内は楽しくて、もしかしたら自分の病氣も治るのではないかな、もう少し頑張ってみようと思えるのよ」とお話ししてくださいました。

私は事務局員ですが、このようにお電話をいただくと、ボランティア協会の一員であるという喜びを感じます。

これからHC号が長く利用者さん喜んでいただければいい、協会の皆様のお力をいただければと思います。

～ ハンディキャブボランティアに同行させていただきました! ～

11月7日(火)、ハンディキャブ運転者の小川進さん^{おがわすすむ}に同行させていただき、ハンディキャブボランティアを体験してきました。利用者さんは大貫伸子さん^{おおぬきのぶこ}で、清流の里からご自宅までの送迎です。



*AM10:00

気をつけて慎重に運転していますと小川さん。
約束の時間前に清流の里に到着

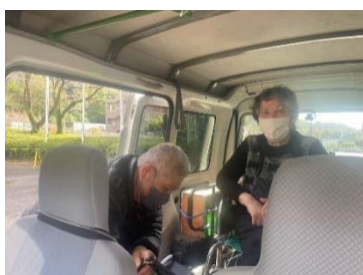


走行メモリなどを記入

*AM9:20

事務局で運行バッグを受け取り、アルコールチェックなどを終えると、駐車場に停めてあるHC号の点検を(ストップランプやタイヤなど)。

スタート!
小川さんの趣味は、麻雀・オートバイ・スケート・スキーとたくさん!



大貫さん「ボラ協のHC運行、大変助かっています。ドライバーの方々も優しく!」
車の中でも、大貫さんの亡くなられたご主人の話や麻雀の話題で楽しい時間が♪



*AM10:30
ご自宅に到着



*AM11:00

事務局で日誌に記入し、利用料金の処理をして終了。お疲れさまでした。
小川さんの優しさと、大貫さんの笑顔に大変素敵な時間を共有させていただきました。(恒藤)

お疲れさま

ボランティアさん募集！

☆野球やソフトボールに似た屋外球技「T ボール」のサポート

依頼先：相模原中央支援学校 T ボールチーム

日 時：毎月第1・3日曜日 午前9時～正午

※どちらか一方の日曜日のみでもかまいません。

場 所：中央支援学校グラウンド(中央区高根 1-5-36)

※雨天中止。その場合は午後1時～4時に体育館でレクリエーション

内 容：中央支援学校卒業生(知的障がいのある方)が行うT ボールのサポート

(一緒にランニング、キャッチボール、ボール拾い 等)

その他：男女問わず参加可能で、野球経験も不要／駐車場・交通費なし／

動きやすい服装・靴、帽子、グローブ(持っていれば)をご用意ください。



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



山口尚美画

《今月のイラスト
…こんなBAGが欲しい》

お詫びと訂正

ぼらんていあ通信10月号に掲載しました下記の
記事に誤りがありました。

★5ページ ボランティア組織図での篠島紀子
さんのお名前の読み方

(正) ささじまのりこ

(誤) しのじまのりこ

お詫びするとともに、訂正させていただきます。

寄付者が税制面での優遇措置を
受けたいです。

寄付金控除制度の活用を

ボランティア協会では、来年度も、さまざまな事業を展開していくつもりですが、そのためには資金が必要です。

12月までに寄付をしてくださると今年分の確定申告に間に合います。

詳細は、当協会にお問合わせ下さい。

*認定NPO法人

相模原ボランティア協会

電話 042・759・7982



会員の皆様には10月号にようちよ銀行の払込取扱票(手数料協会負担 ※但し、現金でお払込みの場合は別途手数料百十円がかかります。)を同封しましたので、ご利用下さい。よろしく願っています。

編集後記

11月上旬、夏日を記録、桜の花が咲き、満開のひまわり畑、色あざやかな紅葉の山々、車に積もった雪、どれもテレビのニュース映像。

春・夏・秋・冬、オールシーズン

あいの11月。

まだ11月、もつ11月? (小)